We wish to thank Professor P. A. Archibald of the Slippery Rock University for her valuable comments on the manuscript and Professor Z. Iwatsuki of Hiroshima University for critically reading the manuscript.

References

Bischoff, H. & H. C. Bold 1963. Phycological studies IV. Some soil algae from Enchanted Rock and related algal species. 95pp. Univ. Texas Publ. No. 6318. Austin. Printz, H. 1964. Die Chaetophoralen der Binnengewässer. Eine systematische Übersicht. Hydrobiol. **24**: 1–376. Sarma, P. 1986. The freshwater Chaetophorales of New Zealand. Beih. z. Nova Hedwigia **58**: 1–169. fig. 1–550. Skuja, H. 1949. Zur Süsswasseralgen-Flora Burmas. Nov. Act. Reg. Soc. Upsaliensis, ser. IV, **14**: 1–188. Tupa, D. 1974. An investigation of certain Chaetophoralean algae. Beih. z. Nova Hedwigia **46**: 1–155.

* * * *

広島県東部の4河川から採集した *Gongrosira burmanica* について形態，分類学的特徴，他種との区別点等について報告した。*Gongrosira* 属は淡水中の植物体，石礫上などに付着して生育する。本植物群については現在までに約20種が記載されているが，本邦からの報告は未だなく，今回報告した *G. burmanica* は日本新産である。本藻は河川の石礫上に半球形のコロニーを形成し，半球形の中心部から放射状に糸状体を伸ばす。糸状体は又状分枝をする。葉緑体は側壁性で深い切れ込みのある薄板状で，数個のピレノイドを有する。本属の遊走子については，すでに2本鞭毛のものが知られているが，今回観察した藻体では4本鞭毛の遊走子を形成した。この様に2本と4本の両鞭毛の遊走子を同一属に有する例はカエトフォラ目の他の属でも知られている。本藻のコロニーは野外においては冬から初夏にかけてのみ観察され，遊走子は春から初夏に形成が観察された。

□杉本順一：**世界の針葉樹** 302 pp. 1947. 井上書店，東京. ¥5800. 針葉樹専門の邦書に推薦すべき手頃な良書がないことが，本書執筆の動機であるという。全世界に知られた針葉樹の全部について，それぞれ大要をまとめた前半（約170頁）と，著者の考察になる種類の検索表（約50頁）とより成る。新学名はないが新和名は非常にたくさん作られている。誤植がかなり目につくのが気になる。こういう本は便利なので広く使われるから，できるだけ急いで正誤表を出してほしい。（金井弘夫）